

各 位

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社
 代表者 取締役社長 高橋 武治
 (コード番号 1994)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 影山 信博
 (TEL 03-3271-1711)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年8月9日に公表した業績予想、及び平成22年2月12日に公表した配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,650	90	50	60	6.85
今回発表予想(B)	8,960	△298	△373	△425	△48.50
増減額(B-A)	△690	△388	△423	△485	
増減率(%)	△7.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	11,207	315	258	187	21.45

平成22年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,900	140	150	150	17.12
今回発表予想(B)	7,910	230	210	△444	△50.67
増減額(B-A)	10	90	60	△594	
増減率(%)	0.1	64.3	40.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	6,623	338	341	307	35.10

修正の理由

連結業績におきましては、子会社の建設事業において需要の縮小と競争の激化により売上高は計画を下廻る89億60百万円となり、収益面では売上高の減少に加え、縮小する環境の変化に即座に対応出来ず、また、たな卸資産の収益性の低下による多額の簿価切下げも発生したことから各段階利益ともマイナスとなる見通しとなりました。

個別業績におきましては、売上高はほぼ計画通りに推移し、コストダウン努力により営業利益、経常利益は計画を上廻る見込みです。しかし、子会社に対する多額の株式評価損と貸倒引当金繰入額の特別損失発生により、最終損益は△4億44百万円となる見込みです。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年2月12日発表)	—	0.00	—	10.00	10.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期(平成21年12月期)実績	—	0.00	—	10.00	10.00

修正の理由

上記業績予想の修正のとおり4億円を超える最終損失となることから、誠に遺憾ながら平成22年12月期1株当たり期末配当金を10円00銭から0円00銭に修正いたします。

以 上